

平成28年3月25日
四国電力株式会社
取締役社長 佐伯勇人

伊方発電所1号機の廃止について

当社は、本日開催した取締役会において、伊方発電所1号機の廃止を決定し、その旨を愛媛県知事および伊方町長にご報告いたしました。

伊方発電所1号機は、四国初の原子力発電所として、昭和52年9月に営業運転を開始して以来、四国地域の安定かつ低廉な電力供給を支える基幹電源として、その役割を果たしてまいりました。

愛媛県や伊方町をはじめ、発電所建設の計画段階から今日に至るまで、約半世紀の長きにわたり、ご尽力を賜りました関係者の皆さま、そしてご理解とご協力をいただきました愛媛県民の皆さまに、深く感謝申し上げます。

当社といたしましては、今後、伊方発電所1号機の廃止に伴う各種手続きを確実に進めるとともに、安全確保を最優先に廃止措置に取り組んでまいり所存であります。

また、これらの取り組みについて、地域の皆さまのご理解をいただけるよう、引き続き、情報公開の徹底に努めるとともに、様々な機会を捉えて、丁寧な理解活動・対話活動に全力を尽くしてまいります。

以 上